

「アルプラクラス」「アリッツ」 連窓用FIX窓 取付説明書

MN-1515

改一

- 販売店様・加工店様へお願い。
- ・本説明書をお読みになる前にサッシ枠本体に同封の『アルプラクラス・アリッツ 取扱い上のご注意とお願い』を必ず先にお読みください。
- 本説明書では、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
	取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示しています。
	「必ず行なっていたく事」を示しています。

※本説明書は、アルプラクラスK4を表示しております。

ビスセット一覧（組立用）

①	②
枠組立用	障子組立用
なべタッピンネジ φ4×25	なべタッピンネジ φ4×25

ビスセット一覧（取付用）

③	④
枠フィン取付用	額縁取付用
スクリュー釘 φ2.1×32	丸山ネジ φ3.1×20

建て込み部品セット

⑤	⑥	⑦
下がり防止ブロック	切欠きカバー	障子固定ビス
2, 3個	4個	φ4×14 トラス小ネジ

※下がり防止ブロックはサイズによって、個数異なります。

グレチャン一覧（ガラス溝幅14mm用）

ガラス厚	専用グレチャン					化粧格子取付
	3mm	4mm	5mm	6mm	6.8mm	
製品記号	SGCA1403	SGCA1404	SGCA1405	SGCA1407	SGCA1407	
化粧格子取付	○	○	○	○	○	○
姿図						

グレチャン一覧（ガラス溝幅26mm用）

ガラス厚	専用グレチャン							化粧格子用グレチャン	
	12mm	13mm	14mm	16mm	18mm	19mm	20mm		22mm
製品記号	SGCA2612	SGCA2614	SGCA2616	SGCA2618	SGCA2619	SGCA2621	SGCA2622	SGCB2618	
化粧格子取付	○	○	○	×	×	×	×	×	○
姿図									

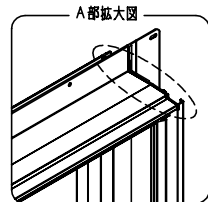
※18mm偏芯タイプのグレチャンは、化粧格子専用です。14mm厚以下のガラスに化粧格子を取り付ける場合は、上記、専用グレチャン（ガラス厚：12～14mm）で対応しています。
化粧格子取付 ○・・・取付可 ×・・・取付不可

1 枠の組み立て

- ① 同梱のビスセット内のネジで確実に組み立ててください。
※アングル部分の突合せ部に隙間が出ない様、注意して組み立ててください。

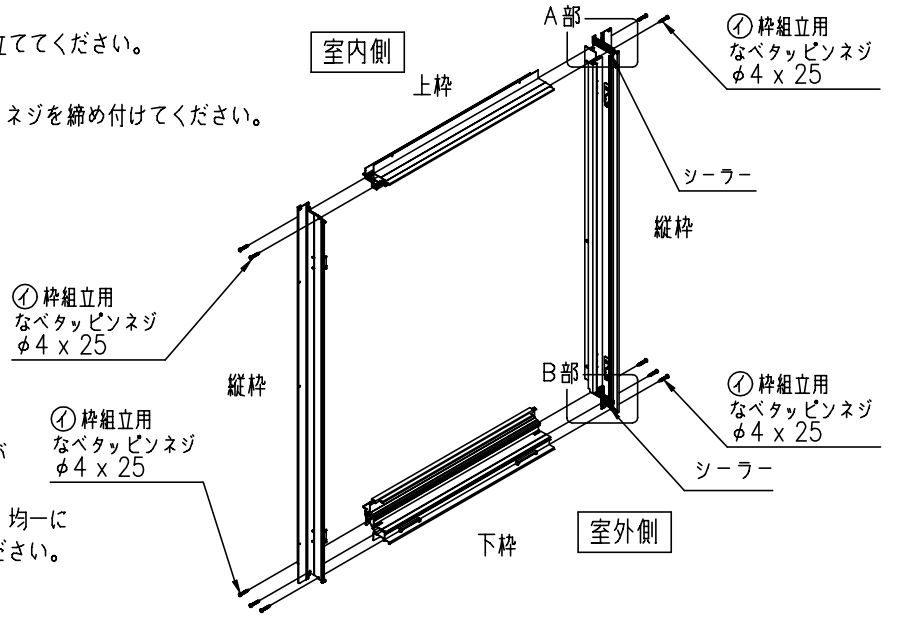
⚠注意

シーラーが上・下枠にしっかり当たっているか確認してから、ネジを締め付けてください。
漏水の原因になるおそれがあります。



ポイント

- ・シーラーの位置ずれ、折れ曲がりがないことを確認してください。
- ・シーラーが上・下枠形状にそって、均一にはみだしていることを確認してください。



2 障子の組み立て

- ① ガラスへグレチャンをセット
① ガラス厚にあったグレチャン（別売り）をガラス四方に巻いてください。
※グレチャンは、継ぎ目が上になるように巻いてください。
また、コーナー部はグレチャンがくい込まないようにしてください。
- ② 障子の組み立て
① ガラスに上・下枠を組み込みます。＜組込1＞
※ガラス端部と上・下枠は左右均等になるように組み込んでください。

お願い

縦框を先に差し込むと、上・下枠の樹脂部材と干渉し、組み立てられません。
（アルプラクラスK4の場合）
上・下枠樹脂部材の破損のおそれがありますので必ず上・下枠からガラスに差し込んでください。

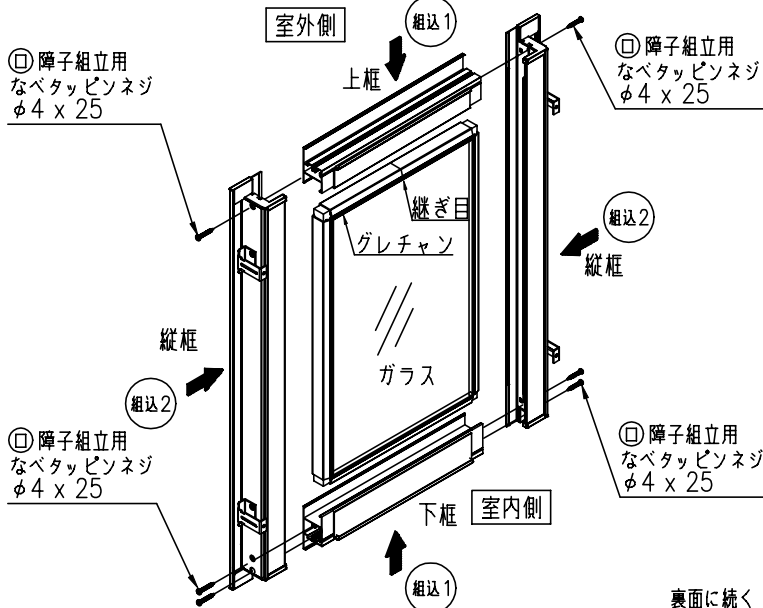
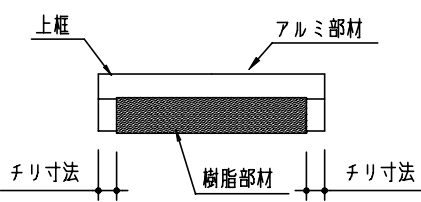
ポイント

框をガラスへ組み込む際にグレチャンがきつい場合は、グレチャンに中性洗剤等を塗布すると組み込み易くなります。
お試しください。

- ② 同梱のビスセット内の組立ネジで確実に組み立ててください。

ポイント（アルプラクラスの場合）

上・下枠のアルミ部材と樹脂部材は長さが違います。
樹脂部材は仮固定してありますが、ずれている場合はアルミ部材と樹脂部材の両端のチリ寸法が均等になるようにセットし直してから組み立ててください。



化粧格子用グレチャン（18mm偏芯タイプ）
をお使いになる場合

ガラス厚18mmの場合に化粧格子を取り付ける際は、化粧格子用グレチャン（18mm偏芯タイプ）をご使用ください。
また、グレチャン取り付けの際は、必ず下図の向きでガラスに巻いてください。
（グレチャンの形状は内外対称ではありません。）

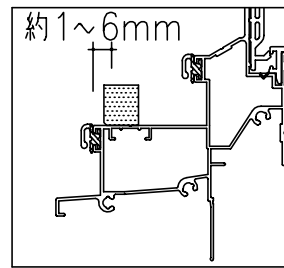
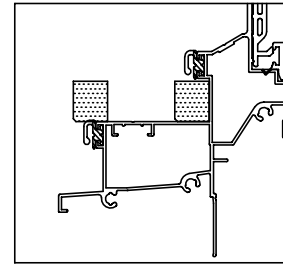
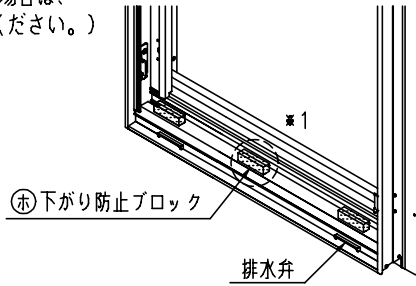
裏面に続く

3 障子の建て込み 手順1:建て込み準備

- 同梱の建て込みセット内の下がり防止ブロックを排水弁を目安に貼り付けてください。
(*1:下がり防止ブロックが3つの場合は、中央にも一つ配置してください。)

ポイント

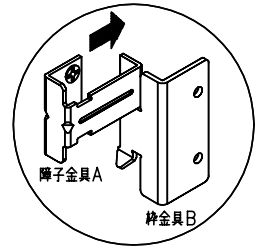
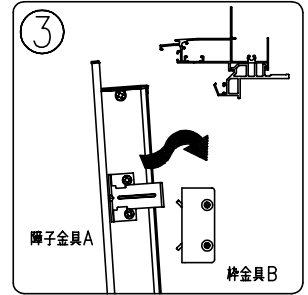
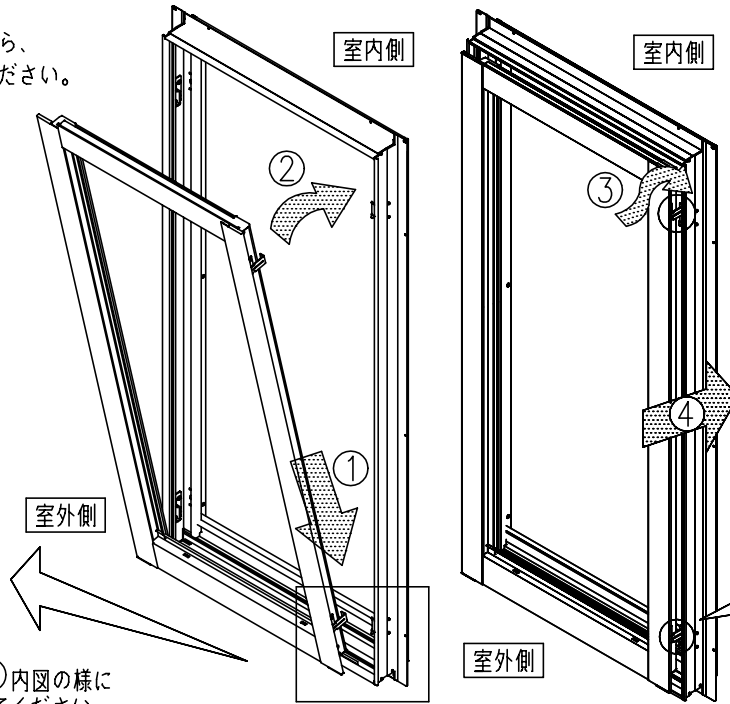
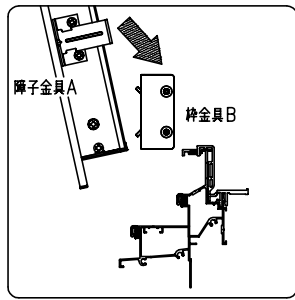
下枠WS(タイト材)ホルダーの端部より室内側へ約1~6mmの所に配置してください。



手順2:建て込み

- 1:下端部の障子金具Aを下端部の枠金具Bの上のせてください。
- 2:②の様に障子を起こしてください。
- 3:下端の金具が引っかかっている事を確認後、下端金具がはずれないように注意しながら、障子を少し持ち上げ上端金具の方も引っかけてください。
- 4:金具4箇所全てかかっている事を確認後、障子を約20mm程ゆっくりと室内側へ押ししてください。
(室内へ20mm程押ししていくと障子が一段落ちます。)

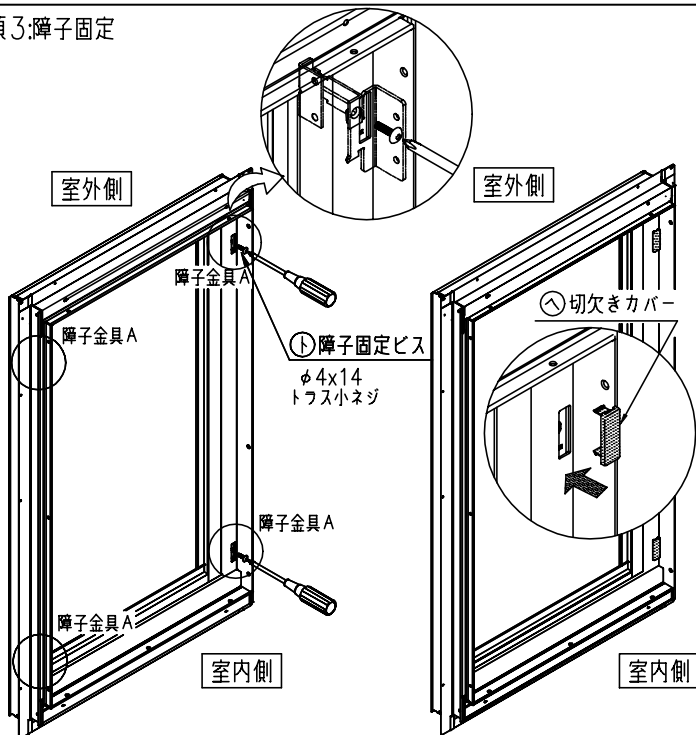
・この製品は上端部側からでも建て込める仕様になっておりますが、作業性且つ建て込み易さを考慮して下端部側からの建て込み手順を記載しております。



注意

上端一下端金具が引っかかりましたら、左図の○内図の様になっている事を目視による確認で4箇所全て行ってください。

手順3:障子固定



- 上左図の様に室内側から、縦枠から見える障子金具A(4箇所)に同梱の建て込みセット内のビスでゆっくり締め付けてください。
- 上右図の様に建て込みセット内の切欠きカバーを嵌め込めば完成です。

4 枠の取り付け

① 枠の仮止め

- 開口部の水平・垂直を確認し枠を仮止めします。

② 枠の調整と固定

お願い

枠取付注意事項

サッシの性能保持のため、枠を仮止めし、下記の1~4を必ず確認した後に取付けを行ってください。

- 1:下枠の取付は、必ず水準器を当て、水平にしてください。
- 2:必ず対角寸法A、B差を3mm以内に押さえてください。
- 3:枠の内法幅を測定しa,b,cの差を±1.5mm以内にしてください。
- 4:枠のネジレ、たおれ、ゆがみに注意して固定してください。

